

皆様、こんにちは！ もう夏も終わりが、朝晩が涼しくなりましたね。新型インフルエンザ注意しましょうね。ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

明治維新の立役者 勝海舟の人生訓

勝海舟の人生訓

幕末から明治維新の大変革期に西郷隆盛と共に江戸城を無血開場させた人物として有名な勝海舟が、何を考え何を行動基準にしていたのか、今の時代にも大変参考となるものがあります。

多くの人間が、「こんにちは」は言うけれど、「さよならは言わない」

よく、俺のところにものを頼みに来る奴がいる。
俺が、そういう仲介の役を果たせると思うからだろう。
まあ、人を頼りにしてくれるのだから、それはそれで可愛いし、役に立つならば何とかしてやりたいと思う。事実、多くのことを何とかしてきたよ。
しかし、何とかされた側が、その後、いったいそのことがどうなったのか、まったく報告にも来ないし、又うまくいった時もそれっきりだな。
つまり、みんな「こんにちは」は言うが、「さよなら」は全然言わないよ、礼儀知らずというかどうか、まあいいさと苦笑する。

たしかに人にものを頼む時は、一所懸命に熱をこめてお願いをする。
が、それがうまくいくと、其の時はお礼を言うが、それっきり遠ざかってしまうことが多い、お礼に行くのはまだいい方で、それもやらない人がある。
つまり、その人が仲介をとってくると、今度は紹介してくれた人の方にエネルギーを注いで、肝心の紹介者を忘れてしまうのだ。
だから、中間報告もしない。
うまくいってもいなくても、報告に行かない人が多い。
別にとがめだてをしても始まらないし、人間とはそういうものだ、と苦笑するのである。

ことが起こると、すぐ人に頼みに来る。
だから本当のことが分からない。
おれなんぞは、普段から長く人間とつきあっておく。
それも芸者やタイコもちのたぐいまで、みんな同じようにしている。もちろん、そうするためには銭がたくさんかかるよ。
しかし、それが何かあった時にものを言うのだ。
そういう長い間の人間のつきあいを欠いて、その日のうちに、何かあった時にものを言うのだ。
そういう長い間の人とのつきあいを欠いて、その日のうちに、自分の思うことを実現してもらおうとするから、結局、ことの本質をとらえることができない。

勝海舟には、幕府側だけでなく、倒幕側にも知己が多く、又、庶民の中に多くの頼まれればすぐ、喜んで手伝う人間が多くいた。

私自身にも身に覚えがある。
恥ずかしい限りだ。
すこしは、勝海舟に見習い、多くの人と長いつきあいをしたいものです。

「何を行動の基準」としているのか？
難しい言葉で言えば、「価値観」です。